

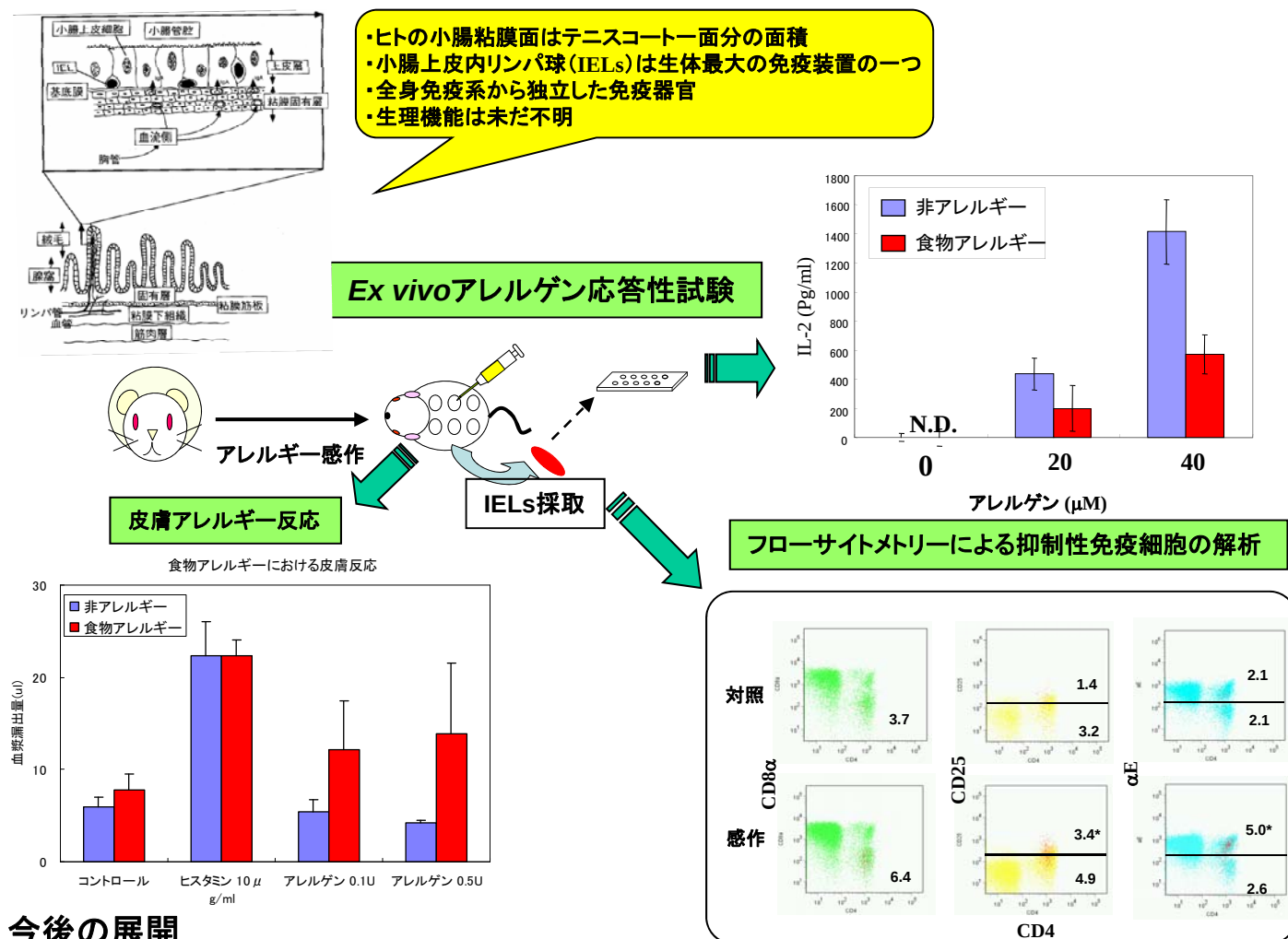
食物アレルギー状態における腸管免疫系の解析

技術の特徴

- ・アレルギーの経口摂取のみで成立するアレルギー動物モデルの作成に成功した。
- ・食物アレルギーの発症メカニズム、とくに食物が直接接触する腸管免疫系の解析はほとんどおこなわれていない。

研究の内容

- ・当研究室で確立したアレルギーモデルマウスを用いて、アレルギー特異的な腸管免疫系の応答を各種免疫学的アッセイにより解析したところ、アレルギー状態においてはIELsの応答性が低下するとともに、抑制性免疫細胞が誘導されていた。



今後の展開

食物アレルギーにおける腸管免疫系と全身免疫系の相互作用を検討する。

参考文献

経口感作時のCD4陽性小腸上皮内リンパ球における制御性T細胞マーカーFoxp3の発現解析

:2009年度日本食品免疫学会学術大会発表

後藤真生、渡辺純、石川(高野)祐子



農研機構
食品総合研究所



代表研究者: 後藤真生
所 属: 食品機能研究領域
機能性成分解析ユニット

問合わせ先: 029-838-8055 masaogot@affrc.go.jp